



タイトル写真　神戸でロケ中のスタッフ（上）／北野町の異人館界隈で、和由布子さん、大竹しのぶさん。池上季実子さんら。（下／左から）

日本で初めてアガサ・クリスティのミステリーが映画化される。推理物のベテラン野村芳太郎監督がメガホンをとる「危険な女たち」（松竹・クラップボード提携作品）。原作は「ホロー荘の殺人」で、英・米・仏・豪・日の五ヶ国で映画化権を奪いあつたのも話題の一つ。名探偵ボワロの日本版を演じる石坂浩二。そして、大竹しのぶ、池上季実子、藤真利子、和由布子らが噂の“危険な女たち”。

神戸ロケに訪れた野村監督にさっそくインタビュー。

——「危険な女たち」の公開が五月二十五日からと聞いていますが、同時に黒澤明監督の「乱」、東映の「夢千代日記」とぶつかりますね。

野村 そうなんですね。でもね、話題作が並んでるときの方が興行的には活気があっていいんじゃないですかねエ。熱気があると「あれもみてやろう、これもみてやろう」となつてね。それに今や、映画同士の勝ち負けじやなく、日本映画の復興 자체が先ですよ。

——監督の今度の作品は日本で初のアガサ・クリスティ作品の映画化、意気込みのほどを……。

野村 そうなんですね。でもね、話題作が並んでると生きの方が興行的には活気があっていいんじゃないですかねエ。熱気があると「あれもみてやろう、これもみてやろう」となつてね。それに今や、映画同士の勝ち負けじやなく、日本映画の復興 자체が先ですよ。

——お得意の「松本清張」モノと翻訳モノは違います？

野村 ええ違いますね。例えばクリスティ作品の映画化となれば、観客側にも見る楽しみ、夢があると思うんですよ。クリスティを下敷きにして、どんな日本版作品ができるのかと。だから「清張」モノの社会派、リアリズムに対し、純粹な推理性、娛樂性が強く出てくると思いますね。マア、その中で人間性の追及、人間の怖さには切り込みたいとは思っていますがね。

野村 ロケの現場に神戸が入つてますね。異人館、さんちか、北野の「サントノーレ」のお店など。

——原作を読んだとき、神戸を使いたいと思つたんですね。というのは、翻訳モノですからエキゾチシズムが欲しい。それには神戸だと思った。

神戸ロケ中の 野村芳太郎監督に訊く 日本で最初のA・クリスティ作品 謎解きの決定版 「危険な女たち」



野村芳太郎監督。

「クリスティの推理劇を楽しんで下さい」
(北野町「サントノーレ」にて)
□五月二十五日松竹系にて公開、20名の方に試写
券をさしあげます。神戸・子編集室までご応募
下さい。

病院の院長代理をしている寺尾聰クンと奥さんの大竹しのぶさんは神戸から元院長がいる白浜の別荘に遊びにいくんです。ほかにも神戸に住む池上季実子さんや和由布子さんなどが別荘に集まり、そこで殺人事件が起るという設定です。映画では冒頭のシーンと、エンディングのシーンで神戸が出てくる予定です。

——他の作品でも神戸に来られますか。

野村 昔の美空ひばりモノ、それに岸恵子と佐田啓二の「亡命記」などもそうでしたね。チョコっとしたロケも含めれば10本近くは撮ってますかね。

——「危険な女たち」。タイトルからすると興味をひく



サントノーレで、歌手役の藤真利子さん（上段）
／中谷衣里ママ（中央）もエキストラで。

のはもちろん女優陣というところ。

野村 個性の強い若手女優四人が集まりましたね。大竹しのぶクンとは「事件」「鬼畜」で一緒に仕事をしている。彼女は一回り大きな女優になってきてる。池上季実子クンは本来強い個性をいかに生かしてくれるか。藤真利子クンは、今までにない役柄をどうこなしてくれるか。和由布子クンはデビュー以来のカワイイ子ちゃん役をふききって思い切って冒険をしてほしい。四人の配役は僕としても満足しています。

——監督流の演出法は

野村 僕は演技指導は殆んどしなくてね。演技は役者の仕事。だから僕は演じてもらいたい人物像を伝えるだけで、役者の演技意欲に任せているんですよ。キヤメラも同じでね、僕はレンズをのぞかない。あくまでカメラマンの仕事ですから。それそれが自分の仕事を全うするからおもしろい映画ができるんで、そうでないなら総合芸術の意味がないですよ。

——監督は今まで八十八本の作品がありますが、思い出に残る作品は。

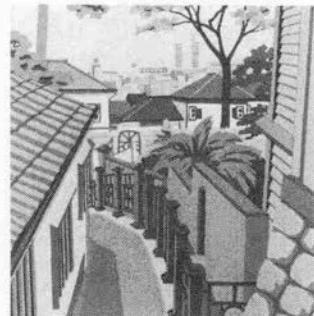
野村 運のいい子、悪い子、みんな僕の子供でしてね。やつぱり客観的にはなれない。ただ転機になった作品は三

つある。「張り込み」(三十三年度作品)

「拝啓天皇陛下様」(三十八年度)「砂の器」(四十九年度)。でもまだ階段をもう一段上がらないと僕は一人前の監督にならないんじやないかな(笑)。

——まだ一人前じゃないんですか(笑)百本撮り終えてやっと一人前とか(笑)スリリングなミステリーを期待していますのでぜひがんばって下さい。

伝統的な木版画で 異国情緒豊かな 神戸の街を表現



坂のある風景…



井堂雅夫さん
<木版画家>

4月28日～5月6日、ラインの

館（神戸・北野町）で、京都を中心

に活躍している木版画作家・井堂雅夫さんが「出会い・ノスタルジア神戸と日本の技」をテーマに個展を開く。

――今回の見どころはどういうところでしょうか。

井堂 神戸の街は日本の中にあって外国的な匂いを持っていて、街の空気、坂のある風景など、これまで題材にしてきた京都とかなり

違うんですね。特に色づかいに注目して作品を見ていただくと、すごくおもしろいと思います。

――個展をされる場所として異人館を選ばれたのは？

井堂 木版画は浮世絵をはじめとする日本の伝統的な多色刷りなんですね。ところが、一般にエッチングやリトグラフをしても木版をする人は非常に少ないんです。やはり、ひとりでも多くの人に、木版画のよさを感じてもらいたい。

そして、できれば若い世代に継承してもらいたいわけです。今回の版画の題材もメリケン波止場、異人館を中心に神戸風景が6点あります。作品ともマッチしますし、若い人の多く集まる北野町で開けば、一人でも多くの人の目にふれていただけだと思いまして。

山本 やはりたくさんの人々に、た木版画の良さを知つてもらいたい、



松尾 満さん
<神戸医師協同組合
組員福利課係長>

山本順子さん
<ギャラリー
雅堂>

大谷晃世さん
<㈱大谷徳風
社社長>

くさんの人々に持つてもらうことが、木版を守ることになり、ひいては、日本の伝統文化を守ることになるんだなと思っています。

今、京都には約80人の職人さんが（摺り師・彫り師）がおられます

が、実際に仕事をされているのは50人くらいなんですね。日本の版画というものをもつともっと広めていきたいですね。

松尾 今回の個展は、神戸医師協同組合も協賛しているんですよ。

昭和32年に医師会会員の福利厚生を目的に医師協同組合が創立されたんですが、昭和56年より、先生方によりよい商品を利用していただるために指定店を設け、現在約100店あるんですね。実は、ギャラリー雅堂さんも指定店の一つなんです。衣・食・住だけでなく、メンタルな部分があつてもいいし、

先生方が京都に行かれる機会もありますので、京都の医師協同組合から紹介をしていただきました。

大谷 私どもも神戸医師協同組合の指定店なんです。そういうご縁なので、この個展はぜひ成功してほしいですね。頑張ってください。

葬儀・寢台
株 大谷徳風社

（078）621-0089
11-12
神戸市長田区松野通1丁目
11-12

★神戸の集いから

★松本尚蒔受賞パーティ

匂いやかに開かれる

舞の松本尚蒔さんが昨年
秋、大和屋におけるリサイ

タル地唄『鉄輪』で大阪

文化祭賞本賞・グリーンリ

ボン賞を受け、3月9日、

鉄輪の衣装が美しい尚蒔さんを囲んで

祝う会、盛大に

鉄輪

の衣装

が美しい

尚蒔さん

を囲んで

祝う

会

が盛大に

開かれる

祝う

会

が盛大

まちまち は一体で

パネラー 三浦 明定
(北野・山本地区をまもりそだてる会)
パネラー 大谷 靖幸
(元町まちづくり委員会)
パネラー 小宮 容一
(シティデザインコミュニティ)



三浦 明定さん



大谷 靖幸さん

——3月22日(金)に元町風月堂ホールにてまちづくりシンポジウム「まちまち大会」が開かれ、北野・元町をはじめ神戸の街づくりに積極的な努力を重ねておられる方々から発言を伺いました。

★街づくりは

ハード面とソフト面の充実から

三浦(保) 本日は、神戸の街づくりに積極的に取り組んでおられる方々にお集りいただき、それに対する意見を伺いたいと思いま

す。

宮西 旧兵庫県庁南庁舎の保存運動をめぐって「神戸の建築を考える会」が発足しました。神戸には歴史的建造物が多く残っているのですが、これまでに保存を取り壊しかの議論もされないで破壊されていった建物がたくさんあります

私は、歴史的建造物の保護が町づくりにどれだけ重要なことであるか理解してほしい。そして、できる限り多くの神戸市民が主体的に



小宮 容一さん

に保存運動に参加してほしい。

三浦(明) 歴史的建造物の保存は街づくりにとって重要なことだと思います。私の住んでいる北野町には現在でもかなりの外国人が住んでおり、異人館も点在しています。

元 住んでおり、異人館も点在している町には現在でもかなりの外国人が住んでおり、異人館も点在しています。私は現在でもかなりの外国人が

元 そうですね。ただ、私は町づくりに対して、ハードな面プラスソフト面の充実が必要だと思います。私はまず六甲限界のマップをつくりました。表が地図になっていて、裏面にお店の記事が掲載されています。300店が網羅されていますが、一軒一軒取材してまわりました。今はもうそんなパワーはありませんね(笑)次に「六甲ギヤルコンテスト」阪急六甲道駅北側ヌーベル六甲で開き、私は成功したと思います。そして「アイスロード復活祭」を実施しました。

これは、タイミングよくNHKで放送され、新聞社の協力などもあってかなりの成果を納めました。私はこの3つのイベントを通して、イベントは低予算でおもしろい企画でないといけないと感じました。お金をかけた大規模なイベントは人を集めますが、イベント

意見は 街づくり

司会 三浦 保

(神戸新聞コミュニケーション情報センター)

パネラー 宮西 悠司

(神戸の建築を考える会)

パネラー 元 正章

(六甲を考える会)

に目がいってしまい、そのイベン
トを開いている場所の方が忘れら
れることが多いと思います。

大谷 元町でも昨年から「元町愛
のフェスティバル」を実施してお
り、今年も第2回目を企画してい
ます。去年はこの中で「元町アイ
デアコンペ」を募集し、一般市民
から元町に対する意見を伺いまし
たところ214点もの応募があり、元

町もまだまだ市民の関心のあると
ころなどと痛感しました。この
時の意見を参考にしながら今後の
元町発展への道を考えていきたい
と思います。

三浦(明) イベントは、常に続
けていかないとダメです。北野で
も北野天満宮を中心、「北野国際
まつり」を開いてまして、外人さん
たちが積極的に参加してきます。

大谷 「ジャズストリート」も毎
年の行事になってきますね。元
町でも「愛のフェスティバル」を
毎年続けていきたいです。

★点としての街づくりから
線としての街づくりへ



三浦 保さん



宮西 悠司さん



元 正章さん

小宮 個々の街の特色を生かした
街づくりも必要ですが、これから
はそれら点として存在している街
を結んで線として開発することを
考えてほしい。神戸の街は、幸運
にも、北野町、三宮、元町と特色

ある街が点在しており、そこを
結ぶ道路もフーラワーロード、沿岸
通り、トアロードと揃っています
この通りをもう少し整備し、各タ
ウンを回遊できるようにないたい。

宮西 旧外人居留地跡の歴史的建
物もぜひ保存して、散策できるよ
うにしたい。そうすれば、フーラ
ワーロードから海岸通りを通って、
元町へ人が流れれると思う。

元 そして各街ごとに大小のイベ
ントを開いていけば、さらには人が
集まり、神戸の街を発展させてゆ
きますよ。

小宮 そして、もっと人と人のふ
れあい、コミュニケーションに力
を入れて神戸全体を発展させるよ
うな街づくりをめざしたいですね
三浦(保) 本日はどうもありが
とうございました。皆さん意見
を聞いて私も街づくりに自分が主
体となつて参加したいと思います

自分が生活している神戸の街の
発展のために力を合せて街づくり
に取り組んでいきたいと思います
ね。
(嵐月堂ホールにて)

ら提案された、サンフランシスコ
のケーブルカーをアレンジしたバ
スを観光用として走らせたいです
り、このエネルギーを他へ移行し
たいと考えています。

大谷 元町でも昭和62年完成予定
のメリケンパーク、現在企画の進
んでいるハーバーランド計画、旧
県庁南庁舎にできた迎賓館をつな
ぐ計画が進んでいますよ。

田坪直さんに聞く
△兵庫県心身障害児童福祉協会職員▽

バークレー市に 自立センターに 学ぶ

橋本 明△家庭養護促進協会事務局長▽



田坪さんとルームメイトのハーブさん

いったことに重点がおかれていたようでした。つまり、施設や病院で暮らすのではなくて一般の人たちと同じように地域で自立して暮らせるようになります。たとえばこのセンターには自立生活居室という部屋があり、そこでは料理の仕方、風呂の入り方、掃除の仕方を始めとして自立生活のいろんな訓練をするんです。また障害者の性の問題も話し合ったり、バスの乗り方も教えたりしています。またピア（Peer）カウンセリングといって障害者が仲間同士でお互いに生活の知恵や工夫を教える合意、励まし合ったりもしていました。

——四ヶ月間同居していた重い障害をもつた人はどうやつて一人で暮らしておられましたか？

田坪「ハーブ・ハウワースさん（56）という男性で、彼は20年前から難病にかかり、重度の障害をもつようになります。自分で立つことも歩くこともできないので日本でならおそらく一生病院暮らしになるでしょう。しかし彼は一ヶ月に日本円で30万円程の年金をもらい、一日のうち数時間アテンダント（介護人）の助けを借りて生活をし、コンピューターの学校にも入っていました。」

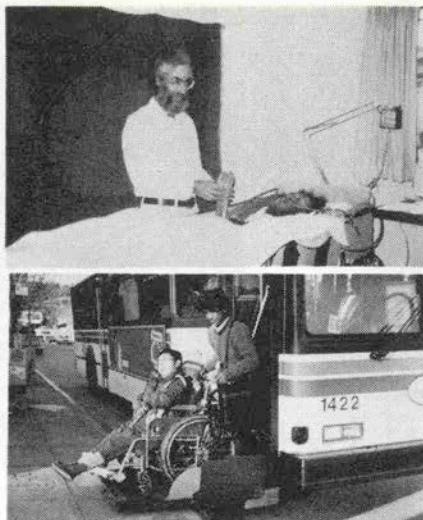
——C・I・Lの活動の内容は？

田坪「障害者の生活保障の相談、住宅改造の相談、職業の紹介、車イスの修理。それにリハビリテーションよりも障害者の実際の生活をどういうふうにすればよいかと

田坪「有料ボランティアで障害者や老人などの介護をする人です。一時間5ドルの料金で学生などがアルバイトでやっています。障害者は食事や風呂、衣服の着脱、外出など介助が必要な時だけアテンダントの助けを借りるわけで、アテンダントの紹介はC・I・Lでもやっています。介護料は年金から支払っています。障害者が自立す



右上はハーブさんの世話をするアテンダントの一人
右下は車イスで乗降できるリフトつきバス
左は所長のマイケルさんと研修生たち。真中は昨年結婚した妻の敦子さん



るためには年金などの生活費の保障、アテンダントの援助、そして交通機関の利用可能なことが必要だと思いま
すがバークレー市では80%のバスにリフトがついていて
障害者が車イスで乗り降りしやすくなっています。

——このC・I・Lのスタッフや運営資金は？

田坪「所長はマイケル・ウインターさん（34）で彼自身骨形成不全症で車イスで生活しています。彼はミスター・ドーナツのこの障害者派遣制度で第一回めにここで研修を受けた日本の障害をもつ女性と昨年の夏に日本へ来て結婚し、今は夫婦でこのセンターをやっています。スタッフは40人でそのうち70%は障害者ということです。かつては二百人もいた職員がカーター政権からレーガン政権に変わつて以来政府の助成金が大幅にカットされ、職員も活動も縮小せざるを得なくなつたようです。運営費は年間一億七千万円で、半分は政府の助成金、二割は財団からの補助、残りが寄付などです。政府の政策によって助成金も変るので公的な財源に依存していると運営が不安定になるところが日本とずいぶん違うところですね。」

——日本がこれから参考にしていくようなものは？

田坪「日本の障害者はあまりにも人まかせだと思いますのでもっと主体的に自分の意見や考えをもつて生活してほしいと思いましたね。障害者を介助するアテンダントシステムなどはもとと日本でも参考にしたいものです。それから、私は障害者の側にも危険をおかす権利といつたものがあるように感じたんです。日本の障害者は心配されすぎて危険にたち向かうことに消極的すぎるようだと思ふんです。」

田坪さんはこのC・I・Lでの研修の他、福祉工場を見学したり、活動資金を募るために方法を教える学校で学んだりして実り多い体験を積んだ。その成果はすぐには生活や仕事のなかで現われてくるようなものではないが、これから的人生に大きな励みや力となるはずだ。障害をもつた若い人たちがどんどんこんな体験にチャレンジをしてほしい。

★青年部新リーダーに 金井啓修さんが就任

有馬温泉観光協会青年部の新リーダーが金井啓修さん（30歳）に決定した。早速、インタビュー。

——青年部も発足から六年目。リーダーとしては五代目ですね。

金井　ええ、そうです。この五年間は、いわば青年部の創成期と言えますね。当所は何をやっても目新しかった。しかし、今や活動にマンネリ化という面も出て来ています。メンバーも現在、五十人近くになりました。恐らくピークでしょう。

——そういう時期のリーダーとして何を考えておられますか。

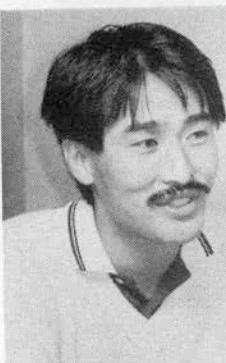
金井　今マンネリと言いましたが、逆に言うと、この五年間でいろいろなノウハウが蓄積されています。今年は目新しいことを追いかけるとい

うのではなく、継続イベントの質の向上、グレード・アップを計りたいですね。一つ一つをさらに充実させることを考えています。

一方、組織面においては、メンバ具体的には、各部会毎に、いわば「専門家」を置くということです。たとえば、絵心のある人には、デザイン部を、家業が大工や電気屋の人には設備部を担当してもらうということですね。人それぞれに得手不得手があるわけですから、各自の得意分野を生かせるように役割を組んでみました。

——具体的なイベントとしてはどういう企画が決っているのですか。

金井　順に言いますと、六月二十三日に、念佛寺で娑羅の花と一弦琴を鑑賞する会、七月二十八日には「有馬一周ウルトラゲーム」（仮称）。これは阪神間の小学生を集めて、有馬の自然と地形を生かしたサバイバル的な競技です。最近は小学生から塾



金井 啓修さん

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉園

TEL (078) 904-0731

有馬の歴史を語り続ける「いで湯の宿」

銀水荘

別館 楽山

TEL (078) 904-0622

別館 光楽

TEL (078) 904-3656

欽山は典雅な
日本風の館です

国際観光旅館

欽山

TEL (078) 904-0701代

敷地内から湧きでる
日本最古の温泉“有馬温泉”

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295代

温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291

通いという風潮ですから、創造力と体力とでチャレンジしてもらおうと、いう想いです。秋にやっている「有馬温泉大学」の附属小学校版とでも言えますか。恒例の「有馬のカーニバル」、今年は八月六日から八日であります。昨年夏のイベント「出たがりのための音楽祭」もこのとき一緒にやる予定です。また、同じく昨年やりました「有馬温泉歴史の散歩」は、今回はユニーク・アート・ド神戸大会の開幕に合わせて八月二十四・二十五の両日行います。

先ほど言いましたように一つ一つのイベントを充実させたいとのこと



サンーサイドアップ・テニスコートにて

で、日程だけは早く決めたんですね。

今年は忙しくなりそうですね。

金井 いやあ、誰がリーダーになつても同じですよ。みんなでやらないとダメですからね。私は三十歳になつたばかりなんですが、青年部の真中ぐらいの年齢になります。いわば年長者と若い者との橋渡し役ですね。これまでの五年間のノウハウを整理し、形として残し、若い人にアレンジして貰おうと思っています。

青年部としても、二年は青年部の中でもベテランの人には、むしろ若い人の補佐役に回って貰っています。さらに若い人の力を引き出そう

ということですね。

金井 有馬の魅力をグレードアップするために頑張りますよ。

★「有馬グランドホテル写真コンテスト

有馬グランドホテルでは、次の要領で写真コンテストを実施しています。

●テーマ／春の有馬グランドホテル

品展示規格／ファミリーの部／カラ－・サービス

●サイズからキャビネまで／一般的の部／カラ－・サービス

●賞／ファミリーの部／入選10点、橋・高級アル

バム・ホテル館内利用券（二千円相当分）／一般

の部／特選1点、橋・賞金五万円、準特選2点、

橋・ホテル館内利用券（ベアでご招待、四万円相当分）／入選5点、高級アルバム・ホテル館内利用券（五千円相当分）、佳作数点、ホテル館内利用券（三千円相当分）

●応募締切／五月三十一日（金）

●発表／入賞者に直接通知。ホテル内にて入賞作

品展示の送付先・問い合わせ／有馬グランドホテ

ル 904-0181（代）

雅ただようくつろぎの館
中の丸瑞苑
TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで
有馬グランドホテル
TEL (078) 904-0181

結婚式場を完備しています
兵衛向陽閣
伝統と格式を誇る
景勝高台の近代旅館
TEL (078) 904-0501代

静寂さにつつまれた
くつろぎの宿
国際観光旅館
陵楓閣
TEL (078) 904-0675
TELEX 5627-115

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり
味に集う
Sunny Side up
サンライズ・テニスクラブ
TEL (078) 903-1024
木造りの宿
御所坊
TEL (078) 904-0551

★神戸ファッション市民大学OBによるグループ
<神戸のファッション都市化をめざす>

事務局／神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F
月刊神戸っ子内TELE (078) 331-2246

● 3月のマンスリーサロン

「一寸先は光」 を信じて

講師 元永 定正<画家>



3月のマンスリーサロンは、ユニークな抽象画で、スイング(K.F.S機関誌)の表紙でもお馴染みの元永定正画伯を迎えて、創作活動の立場から見た“創る”について語っていただきました。「絵かきの立場からいうと、ちょっと違うニュアンスになるかもしれませんが、“創る”ということを、ファッションとか売り物を創るうけとめてはいけません。創る人というのは常に考える人でなければいけません。真似をしているようでは売れても“創る”ということにはなりません。本当の意味の“創る”というのは、すぐにはできないということ。勿論、そんなことを言っていたら、お金に困るわけですが、本当に儲かるには、長い時間をかけた“創作”が必要になってくる

“創作”的ポイントは、素材を地球上からひっぱり出し、「夕焼けはなぜ赤いのか?」というように、自然とい

うものを改めて見直すことです。それからは、喜びを感じたりする「感じる自分」をつくること。自然に生きている精神をお金のためにゆがめられないようにすることも大事なことです。創作活動において、同じことを繰り返してやっていると創作精神がすり減ります。だからといって新しいことをやってもなかなかうけられられません。儲かるということにはほど遠いわけです。しかし、「儲からなかった、儲からないことをやる!」というのが“創る”ことの原点だと私は思っています。頭を堅く考えたりしないで、気楽にものごとを考え、頭の回転をよくして創作に励みましょう。「一寸先は光」、僕の現在の哲学はこれです。

神戸の風土は、山あり海あり、創作には申し分ないと思います。僕の抽象の基本も神戸の摩耶山からです。摩耶山で見たネオンの美しさは、伊賀で生

まれた僕には充分に創作の素材になったのです。新しさの中には、常に不思議さがはらんでいます。人間の創作には、やはりわからない部分、不可解な部分に挑戦していくという努力も必要です。みなさんも、どんどん“創作”に挑戦して、「創作の街神戸」をPRしてほしいものです。

●新入会員

イチイ株式会社代表取締役
一井 直彦



今年で92年目を迎えて3代目を継いでいる呉服問屋。従来の和装オンリーから脱皮をはかろうとKFSに入会。他に、不動産管理会社一井合名会社の代表者でもある。

本社 姫路市船屋町24番地 電(0792)81-2221(代)

神戸ファッション研究所 設立基金募集中!

● 5月のマンスリーサロン

日時 5月12日(日)
場所 一恒例野外研修一ぐにうみの祭典

● 6月のマンスリーサロン

講師 横山和夫
<商業環境計画研究所主宰>

日時 6月21日(金)

P.M. : 6:30~

場所 市立勤労会館 404号
日本インテリアデザイン協会会員横山氏の講演に乞
期待!





クレオパトラは メイク美人か？

メイクアップアーチスト

黒島 健司

「あの人、化粧がうまいね」「メイク美人」とか「なによ、どぎつい化粧して」と云つた会話を耳にする事があります。はたして化粧とは何だろうメイクとは何なんだろう。

まず化粧とは、粧い化けることであり、その中にはメイクだけでなく、基礎化粧、フレグランス、頭髪用、そして最近流行の男性用に別れるそうです。ではメイクとは何なのか、通常口にするメイクとはメイクアップの事で、正しく表現すると、メイクの中にはメイクアップ、メイクダウン、メイクオーバーがあります。

今回は、メイクアップを語る前に、化粧の歴史を振り返ってみましょう。

化粧品の発祥の地「パミール高原」では、まずフレグランスの原形が誕生しました。その当時は現代のようにお風呂がありませんので、神殿に入る前に焚香によって身を清めたとされています（葬儀の時の焼香がこのなごりだという説もあります）又、古代エジプトの壁画や彫刻から見ると写真のようにアイラインが描かれている事に気づかれると思います。人類は既に四千年前からメイクの知識を持っていましたと言えます。

我国でも「日本書記」等の古い記録に神楽を奉

仕した樂土達（現在のミュージシャン）が顔に赤土を塗る風習があったと伝えられ、それがファンデーションの始まりかと思われます。西暦六九二年（大和時代、持統六年）に僧觀成によつて鉛白粉が作られ、我国初の化粧品が生れました。これは戦後迄存在し、亜鉛中毒によつて薬事法で禁止されました。又、お歯黒（鐵漿）もメイクと云えるでしょう。

このように化粧の大きな流れの源には

一、宗教の儀式に始まつた焚香

二、香油による肌の手入れ

三、顔料による隈どりの仕上げ、がありますが、この顔料こそ現在のメイクの母体であることは云うまでもありません。

最後に再び西洋にもどつて、クレオパトラはメイク美人かについてひとつこと。もし鼻がもう少し低くかつたら歴史は変つていただろうと云われますが、その鼻を高く見せたのが、ノーズシャドー1、アイシャドーです。でもこのシャドーは元来顔のまわりを飛びまわるハエよけが目的であったことは……。

いづれにしろ人類の美に対する憧れは永遠のもの、さあ、あなたはどう表現しますか？